

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年9月19日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年9月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【増設雑固体廃棄物焼却炉建屋における型枠解体中の負傷について】 発電所構外で建設中の増設雑固体廃棄物焼却炉建屋において、協力企業作業員が型枠解体の作業中、単管パイプが落下した後に跳ね上がり左手指に当たり負傷。 救急医療室の医師の診断を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、救急車を要請。 病院にて医師の診察を受けた結果、骨折と診断。	G II
2	【1号機復水貯蔵タンク水位計(LI-7-1)の通信不良について】 1号機復水貯蔵タンク水位計(LI-7-1)の通信不良を確認。 調査の結果、ケーブルの断線と推定。 なお、復水貯蔵タンク水位監視は、水位計(LI-7-L2)をWebカメラで監視。	G III
3	【2号機遠隔操作重機のシリンダーの動作不良について】 2号機オペレーティングフロア内の残置物撤去作業中、遠隔操作重機のアーム部を動かすシリンダーに動作不良を確認。 点検の結果、外観の異常及び油の漏えい等はなし。 原因調査中。 なお、他の遠隔操作重機で作業継続中。	G III